

- ■ ■ ■ 葉活酢ワンダーランド
  - ■ □ ■ お酢（ビネガー）で農業を盛り上げたい
  - ■ ■ ■ 発行者： キューピー醸造 梅本和夫
- 毎月15日前後発行（創刊 2021/4/16）

<http://www.kewpie-jyozo.co.jp>



..... by kewpie-jyozo .....

葉活酢をご愛顧いただき有難うございます。

4月も半ば、桜の開花前線も東北地方に北上し、あと数日で津軽海峡を越えて北海道道南エリアに到達しそうな勢いであります。春作の準備が本格化してお忙しくなる頃と存じます。

昨年4月に定期配信を始めて今回で13回目となりました。皆さまに葉活酢を通して得られた営農関係の話題をお伝えしたいと思っています。お酢（ビネガー）の良さを農業関係の皆様と共有出来れば幸いです。

今回は南淡路島エリアの話題であります。

#### <兵庫県南あわじ市の話題>

今月は南あわじ市の生産者団体「ベルデの会」と農畜水産物産直所「美菜恋来屋」のお話であります。

南あわじ市は瀬戸内海最大の島、淡路島の南部に位置し、年間通して穏やかな気候であります。南あわじ地域は水稲の収穫後に、畜産農家由来の堆肥を活用し、タマネギ・レタス・キャベツ・ハクサイなどの露地野菜を2～3回栽培する周年栽培を行っています。特にタマネギは北海道・佐賀県に次ぐ産地で、「淡路島たまねぎ」のブランド化にも取り組まれています。エリア生産者の営農意識は高く、高品質・高付加価値を訴求するため、大住佳男氏が中心となって2008年に任意団体「ベルデの会」を立ち上げられました。現在会員農家さんは54軒です。地域の営農技術発信拠点である南淡路農業改良普及センターから営農情報の提供・技術の指導を受けて栽培技術の向上に努められています。「ベルデの会」会長の大住氏とは5年前に御縁があり、タマネギ・蔬菜類・エディブルフラワーなどでCa資材として葉活酢をご採用頂いています。

（大住会長のタマネギ圃場画像）



次は産直施設の話です。地域振興の一環として、淡路島の「食」を堪能できる施設「美菜恋来屋」（ミナコイコイヤと読みます）を2014年（平成26年）に開業されました。施設運営は、JAあわじ島・南あわじ市などが出資し「あわじ島まるごと株式会社」が担当されています。本施設は消費者の安全・安心を心掛けています。①出荷農家さんには栽培管理表（肥料・農薬散布など）の記帳を義務付けています。②定期の抜き打ち残留農薬検査をしています。③年間数回程度の栽培講習会（栽培技術・農薬安全使用など）を実施しています。④加工品の安全確保のため、抜き打ち微生物検査を実施しています。⑤定期のJA営農相談員によるチェックを行い、品質保持・向上を図っています。

（施設外観画像）



（野菜売場画像）



農家さんと各種団体が協働して地域振興に貢献されている事例であり、「ベルデの会」会員農家さんも出品されています。今は新タマネギの出荷最盛期を迎えています。新タマネギを食べて体力維持・増進に努めましょう。

「葉活酢ワンダーランド」の配信は第13号で始めたばかりの試みになりますが、ようやく1年間継続出来ました。これからも皆さまの応援を頂ければ有難く存じます。

また皆様方からのコメントも寄せて頂ければ大変光栄に存じます。

次回は5月20日の配信を予定しています。

お友達を紹介ください！！

ご紹介頂いた方へ、弊社特製のビネガードリンクを進呈させていただきます。

メール配信を希望されない場合はお知らせください。

最後までお読み頂き、有難うございました。